

健康で 働く喜び いつまでも

シルバー

ひがしくるめ

115

2024/3
発行

晩秋から早春へ



撮影 編集担当

賀詞交歓会	… 2	組活主催行事と対外行事参加-2	… 7
新年のご挨拶	… 3	安全就業イベント	… 8
会議報告	… 4	広報部会活動	… 9
対外活動報告	… 5	職場紹介	… 10
組活主催行事と対外行事参加-1	… 6	事務局からのお知らせ	… 11
		救急救命講習会・編集後記	… 12

賀詞交歓会

賀詞交歓会開催

令和6年1月31日(水)、
 商工会館ホールに於いて、
 東久留米市長、市議会議
 長、市議会厚生委員及び、
 関係者各位の皆様にご出席
 頂き、賀詞交歓会が開催さ
 れました。

当センター側からは会長
 以下、役員と関係職員が出
 席いたしました。

初めに、能登半島地震で
 犠牲になられた方々に哀悼
 の意を表し、黙とうを行っ
 ました。

その後、事務局長から、
 ご来賓の皆様のご紹介があ
 り、引き続き、会長の開会
 挨拶、市長挨拶の後、市議
 会議長の発声のもと、乾杯
 が行われました。

歓談の間には、余興をは
 さみ、短時間ではありまし
 たが、出席者の皆様と交流
 を行うとともに、当センタ
 ーの活動等について、説明
 を行う事が出来ました。



名和卓良 会長 挨拶



富田竜馬 市長 挨拶



沢田孝康 市議会議長 乾杯



会場



小田桐 貞 副会長 閉会挨拶



設営準備



歓談の中
 楽しい余興を
 見せていただきました

新年のご挨拶

東久留米市長
富田 竜馬



本年1月1日に令和6年能登半島地震が発生いたしました。亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地の一日も早い復興を願っております。

さて、貴センターにおかれましては、高齢者の就業機会を確保し、その能力を發揮できる社会の実現に向けた重要な役割を果たされており、名和会長をはじめとする皆様方の、たゆまぬご尽力の賜物と深く敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、シルバー人材センターの設立理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、地域に密着した就労活動を通じて、地域社会を支える重要な担い手となっただいているものと認識をしております。また新たに通称「フリーランス新法」が公布され、貴センター、会員の皆様を取り巻く環境も変化していくものと思われまます。そのような状況ではございますが、引き続き長年培ってこられた知識と経験を活かしていただきながら、皆様方の能力を存分に發揮していただければ幸いです。

私は、「あんしんして暮らせるまち」を本市の理想像とし、市政運営に取り組んでおり、その実現に向けた「未来を創るための八つの策」のひとつとして、「いきいきと健康に暮らせるまち」を掲げております。地域包括ケアシステムの構築や健康寿命の延伸に向けた取り組みなど様々な施策を通じて、誰もが安心して、健康でいきいきと暮らせる環境を、実現してまいりたいと考えております。

この「あんしんして暮らせるまち」の実現に向けては、会員の皆様方に地域で存分にご活躍いただくことが大変大きな力になるものと考えております。ご協力を切にお願い致しますとともに、ご活躍を心より祈念しております。

結びに、貴センターの今後の益々のご発展と皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

東久留米市シルバー人材センター会長
名和 卓良



新しい年を迎え、皆様にはお健やかに過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。

令和6年を迎えておりますが、年頭に発生した能登半島地震により亡くなられた多くの方に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、ここ数年の間猛威を振るっていた新型コロナウイルスは昨年5類へ分類されることとなり、社会全体が少しずつ日常を取り戻しつつあります。当センターにおきましても、昨年から集合して行う各種のイベント等へ多くの会員の方にご参加いただいております。新型コロナウイルスの影響は日に日に薄れてきたと感じています。

今年はこれからの当センターの発展につなげていけるよう、これまで以上に会員の増大、就業開拓に力を入れるとともに、センター内の人と人のつながりの再生に努めたいと思います。

一方で、今年の大きな課題としてフリーランス新法への対応があります。フリーランス新法はフリーランスを保護するために、発注者への規制を目的とする法律で、今年の秋に施行される予定です。シルバー人材センターの会員も保護対象となり、就業前に発注者から契約条件を明示することなどが盛り込まれており、契約条件の明示等を速やかに実施するため会員の皆様を含めた業務のデジタル化を進める必要があります。

また、この法律の趣旨を生かすため発注者・センター・会員間の契約方法の見直しを関係省庁等で検討しており、実施内容・スケジュール等が固まった段階で関係する皆様へご説明し、進めていきたいと思っております。この見直しは請負・再請負といったシルバー事業の現行の契約方法を変更するもので、これに伴ってインボイス制度に関連する消費税の課税関係も変更になるものです。

最後になりましたが、本年が皆様にとって明るく幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

会議報告

地域懇談会

コロナ禍で中止されていた地域懇談会が、4年ぶりに開催されました。

ここでは「幸町地域」と「中央町地域」の懇談会の様子を報告いたします。

【幸町 堀江担当理事記】

11月28日（火）、幸町都営住宅の集会所で会員22名と会長及び事務局から片桐次長が出席し、久しぶりの懇談会となりました。

地域担当理事と、班長一名の交代が3年前に行われていましたが、地域会員に挨拶する機会が持てずに来ましたが、やっと紹介することができました。会長からシルバーの現状報告、そして片桐次長からは、シルバーの様子の話があり、懇談会が始まりました。

3年の空白がありました。が、会員の自己紹介で、すっかり場が和み、皆さんの笑顔に会えてとても充実した会ができました。

【中央町 巖淵担当理事記】

11月24日（金）に生涯学習センター会議室で懇談会を開催しました。

当日参加した会員は、班長単位で席を設け、ケーキとお茶をいただきながら、顔見知りになる事を主体に、地域が近い方でのグループ懇談が実施されました。

センターに関する質疑応答は担当理事が対応し、活発な意見交換が行われました。今後もこのような形で継続する事が予定されています。

幸町懇談会

中央町懇談会



仕事別リーダー研修会

【事業部会 齋藤理事記】

令和5年12月15日（金）、シルバー人材センター内に於いて、4年ぶりに全体研修会として開催しました。当日は46名のグループリーダーの方々に出席して戴きました。

この研修会は、グループリーダーの方々に、各グループの就業内容や課題等の情報交換をして頂き、一つでも自分の就業グループの問題点解決やコミュニケーションの活発化につながるヒントを得て、共有して、活かして戴くことを目的として開催されています。

第一部では、名和会長挨拶の後、田村理事による「リーダーの役割について」の題で講話がありました。

その後、4つの班に分かれて、仕事別G担当理事も加わり、「グループ内のコミュニケーションを上手く

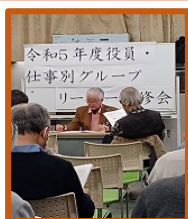
とるコツは？」のテーマで、グループディスカッションを行いました。

第一部閉会后、お待ちかねの第二部懇親会の開会で。全国から独自に選び抜いた複数の銘酒、知る人ぞ知る匠の焼きそば等に舌鼓しながら、大いに盛り上がり、親睦を深める事となりました。ミニミニショーも大事です。

最後に、事務局皆様、準備・運営、大変お疲れ様でした。



グループ討議



懇談会



対外活動報告

東久留米市市議会 厚生委員懇談会

令和6年2月3日(土)
シルバー人材センター会議室に於いて、市議会厚生委員会の方々と、当センター役員との懇談会を実施しました。

市議会の委員会の一つである厚生委員会は、「社会福祉、保健衛生に関することなど」を所掌事務としており、シルバー人材センターに関することも対象となっております。

当日は、現厚生委員会のメンバーとして、村山委員長以下8名の委員の方々にご出席を頂き、当センター役員(理事・監事)16名との懇談を行いました。始めに村山委員長挨拶の後、各委員の自己紹介、そしてセンター役員の自己紹介が行われました。



その後会長より、センターの現況報告、課題等について説明を行いました。又、センター紹介ビデオで、会員の就業実態やボランティア活動、そして地域社会に貢献していることをアピールしました。引き続き、3名の理事より当センターの抱えている課題等について説明を行った後、意見交換を行い、一層のご理解とご協力を求めました。説明に合わせて、仕事関連ビデオも紹介しました。厚生委員会メンバーからも関連質問等があり、本懇談会は終了しました。今後とも継続して懇談の機会を持ち、連携を深めていきたいと思っております。

東久留米市商工会 との協定書調印式

この度、東久留米市商工会と東久留米市シルバー人材センター間で、市内の商工業の発展と地域全体の活性化を推進するため、「取扱業務の連携に関する協定」を結びました。

『調印式』

・日時

令和5年9月28日(木)

・場所

商工会館

・調印者

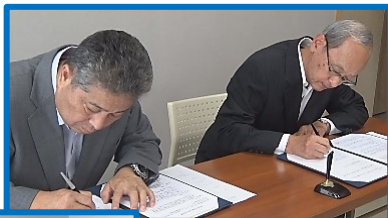
商工会 井田清治 会長
センター 名和卓良 会長

『協定趣旨(概要)』

東久留米市内の高年齢者の就業機会の確保と提供。

商工会とシルバー人材センターが相互に連携と協力を進め、互いが進める業務に於いて地域住民及び事業者等への業務提供を円滑に行う。

調印式



協定内容説明



組活主催行事と対外行事参加-1

夏のシルバー祭り 組織活性化委員会

令和5年8月3日に4年振りに成美会館で開催されました。

コロナ禍では、外出は勿論、会食など多くのことが制限されて、人間関係も何となく希薄に感じてきた時期に開催決定。なんと良いタイミングでしょう！

参加者は61名で、内非会員は1名でした。

7月に新しい委員が決まり、ほとんどが未経験者でしたが、短時間で本番まで持つて行く事ができるチームワークは素晴らしいものでした。当日は、事務局の協力により差し入れや名物の焼きそば、高いお酒等、ゴージャスなお料理の数々を用意しました。



受付、舞台、会場設営、買い出し、出演者の対応等それぞれの担当の班に分かれて、大忙しの委員や理事の皆様方達でした。

祭りには欠かせない太鼓でスタートしました。日本人なら心が踊る音とリズムですね。次は、マリンバと美しい歌にウツトリ、若いシンガーのお嬢様にシルバの皆さんの目がロックオン。次に、衣装が艶やかな元乙女たちのフラダンスが素敵でした。休憩、お食事、ご歓談を楽しんだ後、琉球舞踏、社交ダンス、そしてアコーデオンプラズで皆さん一緒に歌を唄いました。

演目は順調に進み、参加された全員が楽しい笑顔でいっぱいでした。かたづけも要領よくあったという間に済みました。極力、フードロスが少なくなるように、お持ち帰りの協力もしていただきました。お帰りの際、口々に楽しかった、参加して良かった、と言って頂けたことが何よりものご褒美でした。



西団地夏まつり参加

令和5年7月15日～16日の2日間、西団地の中にある黒目川の親水公園で、コロナのため開催できなかった西団地の夏祭りが行われ、シルバーも焼きそばの屋台を出店して、参加させて頂きました。久しぶりのお祭りであってくださった人々で賑わいました。

焼きそばは、1400食以上の売り上げがありました。焼きそば販売にお手伝いいただいた皆さん、暑い中大変でしたが、笑顔で大変お疲れ様でした。



組活主催行事と対外行事参加-2

秋の散策会 組織活性化委員会

令和5年11月8日にシルバー世代の聖地、巢鴨周辺の散策が行なわれました。

お誘いしやすく、お友達と出かける丁度良い場所です。また、年を取るにつれてあちこちの痛みが気になつてきます。せめてお地藏様をお願いしたくなりますね。

お天気が不安定な週でしたが、その日だけは晴天。皆さんの日頃の心掛けが現れましたよ。

参加者68名、内非会員16名でした。

東久留米駅に集合。13名、各グループにはリーダーを配置、混雑の中でも混乱する事なく、手際よくホームに入って頂きました。リーダーさん達の赤いベストの後ろ姿がとても頼もしく見えました。



池袋で乗り換えて、駒込に到着。ゆっくりと歩いて20分。六義園に到着。都心の中に異次元空間を感じました。40分の見学を終えて、お地藏様に会いに移動しました。

しっかりと今年の心と体のトゲを洗い流しお楽しみしました。らくらくコースはここで解散。

小腹も空いて来たので、お楽しみのショッピングとランチの時間。たっぷり時間を取りました。



標準コース参加者は45名。ランチで元気回復。歩く速度が2倍になり、少し距離があったのですが旧古河庭園と薔薇鑑賞へ向かいました。秋バラは、ほとんど終わりの印象でしたが、頑張つて咲いていてくれました。

参加して下さった会員、非会員をお誘いして下さった会員、協力して頂いた事務局、理事、元理事のお陰で、当日のハプニングは多少ありましたが、大成功でした。

西団地祭り参加

令和5年8月6日、16日迄、黒目川親水公園からシルバーの入り口あたりまでの遊歩道に、手作りの風鈴を飾って楽しむ「夏まつ鈴」と名付けられた、西団地主催のお祭りが開催されました。

アイスクリームの空き容器、ペットボトル、プリン等の空き容器などそれぞれの工夫で、風鈴を作り持ち寄り、シルバーも参加させていただきました。



安全就業イベント



いであみ 出水 照子

体力測定会に参加して

令和5年9月15日(金)
スポーツセンターで体力測定会が実施されました。開催場所が自宅から近かったので喜んで参加しました。天気も上々・・・。

自転車で乗って出かけました。会場に着くと、すでに、たくさんの会員の皆さんが色々な種目の測定に、真剣な表情で頑張っていました。私もさっそく身体測定、体力測定にと奮闘しました。

JAFの方による「瞬発力測定」があり、自分の結果に、一喜一憂！にぎやかに過ぎました。

皆さんと測定を続けていると、突然天候が変わり、たたきつけるような雨、稲光、激しい雷の音！会場内も2回パツと電気が消え、思わず悲鳴を上げてしまいました。

窓の外の落合川の水位が一気に増え、茶色の濁流となっていました。急激な変化に、水害はこうして起きるのだなと実感しました。体力測定も終わって、小雨の中を帰宅しました。家に着いた時には、びしょ濡れでしたが、この時ばかりは猛暑日でよかったです。と思いました。



自転車 安全運転講習会

シルバー人材センターでは、就業現場まで自転車で移動する会員が多数あります。残念なことに移動手段として利用している自転車による事故が多く発生しております。

安全管理委員会からも事故防止について色々発信しておりますがなかなか減少しておりません。

今年も呼びかけのひとつとして「自転車安全運転講習会」を実施しました。

令和5年10月3日(火)東久留米自動車教習所で33名が参加して開催されました。

講習会は、初めに田無警察署交通総務係の方の、ビデオによる説明が行われる予定でしたが、ここでハプニング。機器のトラブルで映像がうまく映らず、色々試しましたが解決できませんでした。



急遽スライドによる説明が行われましたが、担当の方がユーモアを交えて楽しく説明していただき好評でした。

この後の質問時間では会員の方が沢山発言され、大変活発な質疑応答時間となりました。

その後、教習所コースで、実際に自転車に乗って安全運転教習を受けました。

参加会員の方は、改めて安全運転が必要なことを感じた講習会となりました。

広報部会活動

東久留米市
市民みんなのまつり参加

令和5年11月11・12日の2日間、4年ぶりに東久留米市市民みんなのまつりが開催されました。当センターも、センターの認知度向上と会員拡大を目的として出店しました。

今冬一番の寒さという日で、お客さんが集まる心配しましたが、久しぶりのお祭りということ、賑わっていました。

テント内では、新入会員の勧誘のため、シルバーの紹介ビデオを流しました。

また、手芸教室の皆さんの協力で手作りの作品を販売するコーナーを設置して、お客様を集めるお手伝いをしていただきました。



手芸教室の作品も好評で、集客効果がありました。

作品の販売は少し心配もありましたが、トラブルもなく販売する事が出来、手芸教室サークルとの連携はうまくいきました。

入会希望の方がいて、後日入会説明会で会員になっていたいただきました。会員拡大に少し成果があったと、手応えを感じました。

広報部会の、会員増強のための参加でしたが、お祭りを十分に楽しみながら、皆様と触れ合えたことは、とても良い経験であり、次年度も参加することを検討したいと思います。

これからシルバー
応援フェスタ

会員拡大を目的として、「東京しごと財団」が企画したフェスタが、令和5年11月30日(木)、まろにえホールで開催されました。

今回は東久留米市を主な地域として設定し、併せて近隣地域の各センターも参加する形式で実施されました。

当日は、大場久美子さんの講演が行われ、多数の方が来場されました。

当センターでは会場内にブースを設置し、入会説明会を行った結果、9名が新規に入会していただきました。

広報部会として、今後も色々な機会をとらえ、会員の拡大に役立つ活動を行います。



フェスタ ポスター

職 場 紹 介



植木班
齊藤 輝夫

「目からウロコ」

まずは、「雑草は弱い」、
という話から始めます。

よく「雑草は強い」と言
われますが、以前に読んだ
本では弱いのだそうです。
弱いからこそ、色々な戦略
を駆使して生き延びる。

また、雑草は「踏まれて
も立ち上がる」イメージで
すが、踏まれ続けると、も
う立ち上がらなくなる。余
計なエネルギーは使わず、
横たわったままでも種子を
残せばいい。無駄なこと
はせず、本質が大事という
わけです。



草花を含め植物は「独立
栄養生物」ですが、動物は
「従属栄養生物」なので植
物なしには生きていけませ
ん。
人間はせいぜいが、一〇
〇年の命、屋久杉などは樹
齢三〇〇年を超すのです。
まさに「目からウロコ」
の驚異ではないでしょう
か。

植物を相手にしている
と、その凄さには恐れ入る
ばかり。毎年毎年手入れを
していても、相手はどんど
ん伸びていきます。だか
ら、植木屋さんの仕事は無
くなりません。

× × ×

私が「シルバー植木班」
に入って六年が過ぎまし
た。なんと早いことよ・・
先輩、後輩を数えてみる
と、丁度真ん中あたりの位
置になります。

植木班は庭木の手入れを
するわけですが、雑然とし
ていた庭も引き揚げるころ
には綺麗さっぱりと明るく
なります。そこに感謝の言
葉を戴き、帰路に就くころ
には、いやがうえにも達成
感を味わえるのです。

しかし一方で、戸外での
仕事なので暑さ、寒さ、
雨、風などの厳しい気象条
件もあります。脚立に登っ
ての高所での作業は、言う
までもなく安全第一です。

それと並んで健康の大切
さ。植木班の方々は皆、元
気がよろしいようです。



× × ×
近年は、世界各地で自然
災害や戦争・紛争が多発し
ています。モロッコやアフ
ガニスタン、ネパールなど
の大地震、ウクライナとロ
シアの戦争や中東の紛争
等々。
災害や争いが起これば植
木（庭の手入れ）どころで
はありません。植木の仕事
があることは平和の証（あ
かし）ー。
平和が続く、健康でいつ
までも植木の仕事が続けら
れることを願っています。

事務局からのお知らせ

就業時の待遇について

以前より、情報回覧や各種会議を通じてお客様または会員同士の接遇向上を皆様にお願ひしてはいますが、事務局に寄せられているクレーム内容を精査すると、内容として就業に係るトラブルや事故そのものよりも、その際の会員の言動や態度に対しての苦情が多く、あまり改善が見られない状況が続いています。

ここ数年はコロナ禍という事もあり、お客様のニーズや考え方も繊細な方向へと変化してきます。特に就業現場での会員の言動や態度に対しては「なぜこの程度で怒られる」「今まで通りしているのに、苦情になる理由が分からない」など、非常に気を遣う状況が増えてきている事は皆さんが一番実感している事と存じます。



お客様への接し方や謝罪の仕方は技術であり（相手に寄り添う心で行わないと伝わりませんが）、覚えてしまえば難しい事はありません。当センターとしても今後、会員や職員を対象とした外部講師による接遇研修などを開催予定です。

コロナ禍以前に色々な物事が戻っている今こそ、改めて人と接する事の難しさや喜びを再確認する必要がありますと強く感じています。

応募の少ない

職種について

情報回覧にて就業情報の応募と選考結果を掲載していますが、結果はご存じのとおり、応募の多い職種とそうでない職種の二極化が進んでいます。

応募が少ない職種でも、就業されている会員は仕事を通じて充実した毎日を過ごしている方が殆どです。

先日、新入会員向けに応募が少ない分野の一つでもある清掃関係の就業をしている会員の方を取材しDVDを作成いたしました。会員の日々の就業に対する想いが伝わりますので、ご覧になりたい方は事務局までご連絡をお待ちしています。

そして情報回覧の募集内容や文言が画一的であり、就業の魅力が伝わらない、事務局として皆さんの希望に沿った就業開拓が進んでいない事にも問題の根がある事も承知しています。

そういった事情も踏まえ、昨年は会員状況調査を行い、今の皆様の就業ニーズなどを把握するためのアンケートと併せてアップデートを行っています。

魅力的な情報回覧のリニューアルも必要ですが、まずは一番は多種多様な就業に会員の皆様がチャレンジする気持ちが一番大切だと思います。

どんな就業も決して楽ではない部分もありますが、ぜひとも情報回覧をご覧になり、担当職員からその就業の魅力のなところを聞いていただき、沢山のご応募をお待ちしております。



救急救命講習会



会員の皆さんは、**AED「自動体外式除細動器」**を知っていますか。又、操作ができますか？...

センターでは安全講習の一環として、令和6年1月25日（木）、生涯学習センターにて、37名が参加して、AEDの講習会を実施しました。

当日、参加した会員に対し、東久留米消防署・救急隊の3名の隊員の方より

実際の場面を想定した扱い方を、丁寧に指導をしていただきました。

参加された皆さんは、熱心に扱ひ方の習得を行っていただきました。

また、機器の必要性を認識できて良かったと感想を述べていました。

編集後記

二兎追う者だけが...?!

〈大谷様には及びませぬが、せめて真似たや二刀流〉

ご存じ大谷翔平選手には、代名詞中の代名詞というべき「二刀流」(残念ながら、今季は「一刀流か)が実によく似合います。

巖流島の宮本武蔵もシニア世代には懐かしいのですが、リアルタイムの驚愕というインパクトには及び難しいものがあります。

古今東西唯一無二、異次元の域にまで飛躍したアスリートは、長引く「コロナうつ」の払拭にも大いに貢献してくれました。

〈翔タイム生き証人の幸運は令和を生きる私たちこそ〉

その佇まいは爽快を体現した自然体。憧憬がいつしか、同じ生き方への願望に変わります。

さあ、「私だって“二刀流”」といきませんか。

二つの外国語を同時に学び始めるとか、家事と併行して災害ボランティア活動に没頭してみるとか。

昨今は「二兎追う者は一兎をも得ず」ではなく、「一兎追う者だけが二兎を得る」のだけか?!

すでに実践している方は大歓迎。これからという多くの会員の皆様の投稿ーまずはアイデアの骨子だけでもーを鶴首してお待ちします。

〈冷や水と言われてもやる二刀流〉

(加)

令和6年4月以降の入会説明会日程表

【原則毎月第3水曜日 13時～ シルバー人材センター会議室】

令和6年4月17日(水)	令和6年5月15日(水)	令和6年6月19日(水)
令和6年7月17日(水)	令和6年8月21日(水)	令和6年9月18日(水)

予約制になっています。「開催日2日前迄に予約をお願いします」

シルバー人材センターホームページから会員登録(仮入会)をされた方は、センターでの手続きが短縮されます。

シルバーひがしくるめ115号 2024年3月発行
公益社団法人 東久留米市シルバー人材センター
広報部会

〒203-0043東久留米市下里四丁目1番44号
☎ 042-475-0738 FAX 042-473-7730
<http://www.sjc.ne.jp/silver>

